



オリーブ通信

2023年
7月号
2023.7.8.発行
第256号

<http://www.ne.jp/asahi/olive/kusatsu/>

あたららしい生徒さんです



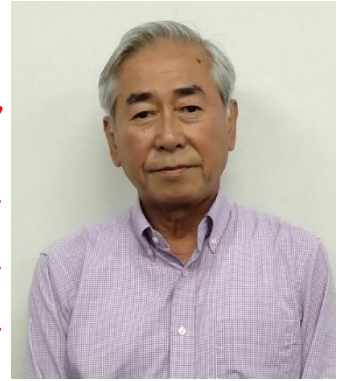
山下 なたりあ
(ブラジル)



ジョランド・ラバゴ・
カニエテ(フィリピン)



デロス・レエス・
ジャーソン(フィリピン)



松宮 清志

あたららしい先生です

中川先生のへんてこ日本語 154

そういうテイで

学生に論文指導をしている際、「そういうテイで進めます」などと、しきりに言う女子学生がいて、その表現が気になった。耳慣れぬ表現だったが、文脈から判断して、「テイ」とは、「体裁」(テイサイ)の「テイ」で、「要領」「スタイル」のことだろうと推測した。

ほどなく別の学生も、同じような言葉を発していた。知らぬのは私(筆者)だけで、流行りの若者言葉かと思って、ネットで調べてみた。あるわ、あるわ。

「テイ」とは漢字で、「体」または「態」と書く。前者なら、見た目を意味する「体」で、「知っていても知らぬテイで振る舞う」のように使い、素振りのこと。後者なら、状況や動きを表す意味になる。前者と意味は同じとあった。

なるほど。すると、学生の「そういうテイで……」というのは、「先生のおっしゃる通り、そのような要領で論文を進めます」であることが分かる。

先日テレビを見ていたら、同じく「そういうテイで」と話しているタレントがいて、むしろ感動した。どうやらビジネスシーンで使われる言葉遣いのようなのだが、その方面には疎い筆者だけが知らなかったのかもしれない。いや話し言葉でしか使わない、めったに聞くことのない言葉であることも確かなようだ。学生のことだから、アルバイト先で仕入れてきた表現であったのかもしれない。しかしビジネス用語を学術分野に持ち込むとは。学生指導も、確かにビジネスであるのかもしれないが、

今回は、こういうテイで論を進めてきた。読んで読まぬテイをされるのも困るが、こんな「テイ」、使っテイますか。



京都外国語大学 日本語学科教授 中川良雄

ゼロ初級から中級の教材 私はこれを使っています



皆さま、日々の授業の教材で苦勞されていないでしょうか？
学習者も N3 ぐらいになるとフリートークをして間違ったところを適宜教えるというのも可能かもしれませんが、私はいつもゼロ初級から N4 ぐらいの非漢字圏の生徒さんを担当しています。今回は私がどんな教材を使ってきたのかをご紹介しますと思います。

ゼロ初級の場合は「みんなの日本語」を使って教えるにしても、まず「ひらがな」と「カタカナ」が読めなければ始められないので 100均で売っているドリルで生徒さんに繰り返し書いて覚えてもらいます。

(時間がなくて宿題にすることも)



セリエやダイソーなど、それぞれいろんな種類のドリルを置いていますが、チェックしたいのは、ちゃんと書き順がついているかどうか。上のダイソーのドリルは書き順だけでなく「とめる」「はねる」「はらう」等、書くときに注意するポイントも押さえてあるのでお勧めです！

私は書体と同じように書くために筆ペンを使って練習してもらっています。書道をしている友人によると筆で書いたほうが漢字を覚えやすいそうです。

← 先日、100均で見つけた学習カード。どちらも書き順つき。「かんじカード」は50枚しかないの、単語を作るには足りないが、裏の絵ですぐに意味がわかるのは便利。



日本の小学校で習う漢字は1006字もあることを非漢字圏の生徒さんが知ったら

「おぼえるのムリ!」と感じてしまうのでは、と心配していたらセリエで右のようなマグネットの「漢字の部首」を見つけました。30ピースしかないのですが、頑張れば「毎日」「十日後」「昨日」も可能。単語を作るには十分ではないのですが(他の組み合わせを買い足せるようにしてほしい)、漢字はパーツの組み合わせでできているということを実感的に知るにはよいのではないのでしょうか？
手作りですり足りない部分を補ったり、部分だけ見せて足りないところを書き足してもらおうという使い方もできそう。



さて、ひらがなが読めるようになったとして、次の文法に進むときに大事なのが「あいうえお表」の順番をちゃんと覚えているかということです。日本語教師の資格をとるために勉強した人は、もう御存知だと思いますが、日本語の動詞の変化は全て「あいうえお」の段にそっています。それはもう数学の方程式のように美しく法則が決まっています。

右のページにまとめてみました。ない形が「あいうえお」ではなく「わいうえお」になっています。本当は最後の「わみうゑを」なのですが、旧仮名とか入ってややこしいから語尾変化で使われない「あいうえお」で代用しているからです。

「はひふへほ」と「やゆよ」は語尾変化では使われません。「がぎぐげご」は追加してもいいかも。

もし短時間で日本語を教えるなら、この十個の形と「て形」「た形」を覚えさせたら、生徒は自分で自在に動詞を変化させることができるようになります。詰め込みなら変化形ひとつとそれを使って派生する主な表現の練習、例えば「ない」だったら「なくてもいい」や「なければなりません」を1回の授業でやってしまうとかどうでしょう？

生徒が熱意を持って全部おぼえたら短期間で日本語能力が飛躍的に高まるような気がします。

とはいえ、私もまだやってみる機会がないのですが…。

動詞語尾変化の Word 原稿を下記 URL か QR コードからダウンロードできます。8/30 まで
「て形」「た形」のオマケつき！ <https://xgf.nu/NXte9> パスワード：oliv



ない形

I -います → -aない

ら や ま ば な た さ か わ
 り み び に ち し き い
 る ゆ む ぶ ぬ つ す く う
 れ め べ ね て せ け え
 ろ よ も ぼ の と そ こ お

II -ます → -ない
 みます → みない
 たべます → たべない
 います → いない
 ねます → ねない

III します → しない
 勉強します → 勉強しない
 きます → こない

いいます → いわない のります → のらない
 かきます → かかない あります → ない(イ形)
 はなします → はなさない
 よみます → よまない

じしよ形

I -います → -u

ら や ま ば な た さ か あ
 り み び に ち し き い
 る ゆ む ぶ ぬ つ す く う
 れ め べ ね て せ け え
 ろ よ も ぼ の と そ こ お

II -ます → -る
 みます → みる
 たべます → たべる
 います → いる
 ねます → ねる

III します → する
 勉強します → 勉強する
 きます → くる

いいます → いう おわります → おわる
 かきます → かく すわります → すわる
 はなします → はなす とります → とる
 よみます → よむ

いこう形

I -います → -O+う

ら や ま ば な た さ か あ
 り み び に ち し き い
 る ゆ む ぶ ぬ つ す く う
 れ め べ ね て せ け え
 ろ よ も ぼ の と そ こ お

II -ます → -よう
 みます → みよう
 たべます → たべよう
 います → いよう

III します → しよう
 勉強します → 勉強しよう
 きます → こよう

いいます → いおう おわります → おわろう
 かきます → かこう すわります → すわろう
 はなします → はなそう とります → とろう
 よみます → よもう

かのう形

I -います → -eます

ら や ま ば な た さ か わ
 り み び に ち し き い
 る ゆ む ぶ ぬ つ す く う
 れ め べ ね て せ け え
 ろ よ も ぼ の と そ こ お

II -ます → -られます
 みます → みられます
 たべます → たべられます
 います → いられます

III します → できます
 勉強します → 勉強できます
 きます → こられます

かいます → かえます
 かきます → かけます
 はなします → はなせます
 よみます → よめます

めいれい形

I -います → -e

ら や ま ば な た さ か わ
 り み び に ち し き い
 る ゆ む ぶ ぬ つ す く う
 れ め べ ね て せ け え
 ろ よ も ぼ の と そ こ お

II -ます → -ろ
 みます → みろ
 たべます → たべろ
 います → いろ
 ねます → ねろ

III します → しろ
 勉強します → 勉強しろ
 きます → こい

かいます → かせ
 かきます → かけ
 はなします → はなせ
 よみます → よめ

きんし形

I -います → -u+な

ら や ま ば な た さ か あ
 り み び に ち し き い
 る ゆ む ぶ ぬ つ す く う
 れ め べ ね て せ け え
 ろ よ も ぼ の と そ こ お

II -ます → -るな
 みます → みるな
 たべます → たべるな
 います → いるな

III します → するな
 勉強します → 勉強するな
 きます → くるな

いいます → いうな
 かきます → かくな すわります → すわるな
 はなします → はなすな とります → とるな
 よみます → よむな

じょうけん形

I -います → -e+ば

ら や ま ば な た さ か わ
 り み び に ち し き い
 る ゆ む ぶ ぬ つ す く う
 れ め べ ね て せ け え
 ろ よ も ぼ の と そ こ お

II -ます → -れば
 みます → みれば
 たべます → たべれば
 います → いれば
 ねます → ねれば

III します → すれば
 勉強します → 勉強すれば
 きます → くれます

いいます → いえば
 かきます → かけば
 はなします → はなせば
 よみます → よめば

受身(うけみ)・尊敬(そんけい)

I -います → -a+れ

ら や ま ば な た さ か わ
 り み び に ち し き い
 る ゆ む ぶ ぬ つ す く う
 れ め べ ね て せ け え
 ろ よ も ぼ の と そ こ お

II -ます → -られます
 みます → みられます
 たべます → たべられます
 ほめます → ほめられます
 います → おられます
 ねます → おやすみになります

III します → されます
 勉強します → 勉強されます
 きます → こられます

いいます → いわれます しかります → しかられます
 かきます → かかれます とります → とられます
 はなします → はなされます
 よみます → よまれます

使役(しえき)

I -います → -a+せ

ら や ま ば な た さ か わ
 り み び に ち し き い
 る ゆ む ぶ ぬ つ す く う
 れ め べ ね て せ け え
 ろ よ も ぼ の と そ こ お

II -ます → -させます
 みます → みさせます
 たべます → たべさせます
 ねます → ねさせます
 います → いさせます

III します → させます
 勉強します → 勉強させます
 きます → こさせます

いいます → いわせます
 かきます → かかせます
 はなします → はなさせます
 よみます → よませます

使役受身(しえきうけみ)

I -います → -a+され

ら や ま ば な た さ か わ
 り み び に ち し き い
 る ゆ む ぶ ぬ つ す く う
 れ め べ ね て せ け え
 ろ よ も ぼ の と そ こ お

II -ます → -させられます
 みます → みさせられます
 たべます → たべさせられます
 います → いさせられます

III します → させられます
 勉強します → 勉強させられます
 きます → こさせられます

いいます → いわされます
 かきます → かかされます
 はなします → はなさせられます
 よみます → よまされます



先月の活動（6月）

日本語教室 6/3(M),10,17,24 (4回)
 6/25(日)BNN 会議 (恩地・福井・田中英)
 6/27(火)草津コミュニティ事業団評議員会 (恩地)

- 日本語教室の(M)は定例ミーティング
- ()内は参加者、または 参加予定者。敬称略



今月の活動予定（7月）

日本語教室 7/1(M), 8, 22, 29 (4回)
 7/30(日) BNN 会議 (恩地・福井)



参加人数（6月）

	6/3	6/10	6/17	6/24
学習者	11	21	23	21
スタッフ	20	20	23	19



会員の動き

〈入会〉松宮 清志
 〈休会〉速水 和歌子
 〈退会〉

日本語教師を国家資格にする「日本語教育機関認定法」が成立！

日本語教師を国家資格にする「日本語教育機関認定法」が5月26日の参議院本会議で可決・成立しました。法案成立により、2024年4月から日本語教師は国家資格「登録日本語教員」になります。この法律では、教育課程や教員の資格を評価して一定の日本語教育の質が確保されている日本語教育機関を文部科学大臣が適正な教育機関であると認定し、その教育機関の情報を多言語インターネット等で外国人に提供するとしています。

そして認定された日本語教育機関で働くためには試験と実習を経て文部科学大臣による登録を受け、「登録日本語教員」の資格を持っていないといけないということです。なお「認定日本語教育機関」以外で働く場合やボランティアや家庭教師などの個人的な活動で日本語を教える場合には「登録日本語教員」の資格は不要です。

「登録日本語教員」の制度がスタートする令和6年4月1日までに日本語教育能力検定試験に合格したり、養成課程を修了している者に対する経過措置については、まだはっきりとは決まっていないようですが、筆記試験や教育実習を免除するなどの案が出されています。現在、日本語教師として働いている人については、令和11年3月末までに現在の日本語教育機関の告示基準で定められる日本語教員の資格を取得していれば登録日本語教員の国家資格を持ってなくても令和11年3月までは認定日本語教育機関で教員として働けるという案が示されています。

さてどうなっていくのでしょうか？現在、日本語学校の労働条件は決して恵まれておらず、新卒採用も少ないため（経験者、女性のパートが多い）、日本語教育学科の卒業生のうち日本語教師になったのは一名だけだった大学もあると聞いております。最初は外国人に日本語を教える仕事に夢を抱いて資格を取るのですが、現実には生徒はアジアからの留学生が多く、そうなる高い授業料は取れない、学校存続のためには少ない教員でできるだけ多くの生徒を教えることになるので授業はびっしりで休みも取れない、しかも最初は講師で将来専任教員になれるかどうかも不確定。大学院まで出て大学で教えたり、国際派遣プログラムで海外で教えられたら良いですが、現実には日本語教師の資格を取っても教師にならず条件の良い企業に就職する人の方が多いようです。実際は、なり手不足の職種なのにハードルを高くしてどうする？数年後には登録教員不足が起こりそうな予感… (エンドウ)